



五色沼自然探勝路の巡視の折にきれいなキノコを見つけました。

日本でみられるキノコは推定で約5,000種類、そのうち食用となるのは約100種類、毒キノコは約200種類以上が知られています。図鑑などで調べると、毒キノコのなかにはいかにも毒々しい見た目のものがありますが、普段口にするシメジやシイタケにそっくりな毒キノコが多いのにはとても驚かされます。

さて、巡視の折にみかけたきれいなキノコの名前はドクツルタケ。「猛毒キノコ御三家」のひとつで「殺しの天使」の別名があります。食べた後の症状としては、6~24時間で腹痛、嘔吐、下痢が発症しますが、約1日で治まります。しかし、その1週間後に、肝臓、腎臓の機能障害症状(黄疸、下血等)が現れるそうです。早期に胃洗浄などの適切な処置をしないと、1本で確実に死に至るとのことです。

もし、キノコ狩りに行く機会があれば、食用のキノコと間違いやすい毒キノコもあるので、十分な知識を持った方と同行するのがよさそうです。



▲五色沼自然探勝路にあったドクツルタケ

🍀 とっておき！自然発見メモ 🍀

自然解説員が自然のなかでみつけたとっておきの情報をおすそわけします！

8月31日



アカイラガの幼虫

名前の通りイラガ科で毒毛があります。しかし、この透明感のある体は何とも言えない、可愛さを秘めています。

9月10日



ツリフネソウとキツリフネ

花が紅紫色のツリフネソウと、花が黄色のキツリフネが並んで咲いていました。なんだか得した気分になりました。

9月22日



キシオタケ

傷ついたところから赤色の液体を出すのが特徴です。傘の縁のノコギリのようなギザギザがチャームポイント！